

もの言う牧師のエッセー 第31話 「これぞスポーツマンシップ！」

6月5日に行われたオハイオ州の陸上競技大会女子3200m決勝レースにおいて、凄いことが起こった。事の起こりはゴール約15m手前で走者の一人であるアーデン・マクマス選手が力尽き倒れてしまった時に始まる。

するとその時、すぐ後ろを走っていたライバルのメーガン・ボーゲル選手が素早く駆け寄り、なんと、倒れた“ライバル”であるアーデンさん抱き起こし、さらに彼女に肩を貸し、一緒にゴールを目指したのだ。

これは決して“草レース”ではなく州の公式戦のしかも決勝である。普通なら少しでも高い順位目指してゴールまで走り続けるに違いない。しかしメーガンさんのとった驚くべき行動に会場の全観衆は感動し、割れんばかりの拍手喝采が巻き起こった。そして彼女たちが一步一步ゴールに近づくにつれて拍手の音は大きくなっていく。しかしこのことはそれだけでは終わらなかった。2人がゴールライン手前まで来た時、なんとメーガンさんはアーデンさんの体を押して先にゴールさせたのだ。通常は選手が他の選手を助けた場合、2人ともレース失格となるところだが、あまりにも感動的な話のため大会関係者らは彼女らのレース参加と順位を認定したほどである。

助けられたアーデンさんは言う。「頭の中が真っ暗になって倒れてしまった時そこに彼女がいた。そして『あなたが先に行きなさい』と言ってくれた」と。
キリスト曰く、

「恵みの時に、わたしはあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。」

わたしはあなたを見守る。」イザヤ 49章 8節

と。我々の日々の生活において苦しい時、倒れてしまった時、神であるキリストは“そこにいて”助けて下さり、前へと押し出してくださる。この“救い主”であるキリストを信頼しよう。

2012-6-14

